

平成 26 年度萬鉄五郎記念美術館運営委員会会議録

日時：平成 27 年 3 月 20 日(金)14：00～16：12

場所：萬鉄五郎記念美術館付八丁土蔵 2 階

1 開 会

- (1) 14 時 00 分、平野事務長が委員全員の出席により会議が成立する旨を告げ開会。
- (2) この会議は、花巻市審議会等の会議の公開に関する指針により公開するものであり、会議結果についても公表することとなっているので、会議録を調製し、委員各位の確認終了後、公表手続きを行うことを説明。

2 挨拶

【市長代理 市川清志生涯学習交流課長兼萬鉄五郎記念美術館副館長】

- ・年度末の多忙な中ご参集いただき感謝。
- ・花巻市唯一の公立美術館として、いろいろ工夫して様々な企画展の実施に努力している。
- ・平成 26 年度は開館 30 周年ということで、市としても PR に取り組んできた。
- ・27 年度は合併 10 年となり、萬美術館についても、広報誌等により東和という枠を越えて市全域に PR するとともに、全国的にも PR、情報発信に努めたい。
- ・現在、トイレの改修や壁の塗装など補修工事を行っているが、今後も施設設備の状況を見て、必要なものは手直ししていかなければと考えている。
- ・本日は、企画展等のソフト関係、施設改修などのハード関係も含めて意見をいただきたい。
- ・萬鉄五郎や東和、土沢というものを広く知ってもらうためにも委員各位の一層の協力をお願いしたい。

3 委員及び出席職員の紹介

- ・平野事務長が、資料 1 ページにより各委員及び出席している市職員を紹介。

4 萬鉄五郎記念美術館運営委員会会長の選任及び会長職務代理者の指名

- ・平野事務長が、本日の会議が委員改選後最初の会議であるため、萬鉄五郎記念美術館管理運営規則第 8 条の規定により、会長の互選について説明。
- ・これに対し、菅沼委員から平野広委員を推薦する発言があり、委員全員の賛同により平野委員を会長に選任、同氏も受諾。
- ・職務代理者は、同規則の規定により、平野会長が五十嵐彰委員を指名し、五十嵐委員もこれを受諾。
- ・会長及び職務代理者は席を移動しそれぞれ挨拶。

5 議事（以後は平野会長が議長として進行）

I 報告事項

【平野会長】

報告事項を議題とし、報告第1号平成26年度の美術館運営状況について、報告第2号寄贈等新収蔵品についての2件を一括議題とし、事務局の説明を求めた。

《説明》

(1) 最初に中村館長が26年度の概要について、挨拶を兼ねて説明。

- ・委員全員のご出席に感謝申し上げます。
- ・開館30年が経過し、現在、展示壁面の改修・塗装を行っており大分鑑賞条件が良くなった。
- ・また、以前から苦情のあったトイレについても洋式化の工事を行っており、ベビーベッドも設置するなど改善に向け徐々に取り組んでいる。
- ・26年度は開館30年ということで、萬鉄五郎生命の爆発展、親子で楽しむ萬鉄五郎展の萬関係の企画展を2展、馬場のぼる展、先人顕彰として晴山英展を実施。
- ・晴山さんのご遺族からは、かねて作品の寄贈申し込みがある。
- ・昨年は、美術館支援事業である街かど美術館事業が開催され、第6回目であるが内容も充実し地域を拡大して実施するなど、大変好評であり大成功だったと考えている。
- ・昨年12月に、市内の方から美術館の収蔵品充実のためということで1千万円の寄付をいただいた。ぜひ有効に使わせていただきたいと考えている。
- ・美術館としては、今後も専門性の高いものから親しみのある企画展まで工夫して開催したいと考えている。
- ・萬鉄五郎が全国区の美術家であることについても一層PRに努めたい。

(2) 報告第1号及び報告第2号について、資料2ページから11ページにより平澤主任主査が説明。

《質疑応答》

【質問・斎藤純委員】

- ① 有料と無料入館者の関係及び八丁土蔵との関係について説明願いたい。本館と土蔵のダブルカウントなのか。
- ② 購入予定の絵のサイズを説明願いたい。
- ③ 馬場のぼる展の経費はどれくらいか。

【回答】

- ① 美術館本館は、幼児や障がい者は無料。有料・無料と区分して記載している部分は本館の入館者。八丁土蔵はもともと無料の入館で、土蔵でカウントした入館者だけを記載。どちらか片方だけの入館と、両方に入館するケースがあるためこのように記述した(伊藤学芸員)。

- ② 萬の水彩「橋のある風景」ははがき大、「風景・郷里土沢町」は大体 A4 サイズ(平澤学芸員)。
- ③ 企画事務所に支払う委託料が 250 万円、それに美術館で使う直接経費が若干。こうした企画は作品の借用・搬送に多額の経費が掛かるが、今回はほかの美術館と共同して巡回展として実施したことにより割安に開催できた。単独で開催すると 2 倍程度必要となる。

【意見・門馬優子委員】

広く知られている展覧会は入館者も多いということだが、小学生・中学生があまりにも少ないと思う。小・中生の入館を増やしていきたいと思うが、何か工夫はないものか。

【意見・小笠原卓雄委員】

晴山英展はよかった。これからもまだ広く知られてはいない、埋もれている作家の展覧会に取り組んでほしい。

【意見・菊池委員】

馬場のぼる展は小学生・中学生でも楽しめる展覧会であり、ふるさとパスポートを利用すれば無料で鑑賞できる。この制度を利用してもっと美術館に親しむ機会を増やせないものか。

【意見・紺野浩一委員】

萬鉄五郎検証のための企画展、芸術的に質の高い企画展、一般に親しみのもてる企画展と工夫がみられ、26 年度の展覧会もうまく企画したと思う。

【質問・紺野委員】

八丁土蔵で開催しているコンテンポラリーアート展について説明願いたい。

【回答・平澤】

- ・八丁土蔵の 2 階はハイビジョンソフトの上映ができるようになっているが、近年利用者、鑑賞者が少ない。このため、八丁土蔵の利用者を増やす目的と現代作家の発掘と顕彰するため、1 階と 2 階を利用して現代作家の展覧会を実施。
- ・作家の選定は美術館で行い、展示や鑑賞は無料だが、展示費用は作家の負担としている。

【参考意見・斎藤委員】

- ・石神の丘美術館でも小学生・中学生の入館が少なかった。学校の先生に話をしても来なかったが、教育長に話をしたら来るようになった。
- ・美術館は美術の授業をするところではなく、地元を学び、国語を学び歴史を学べる。

【意見・西郷晃委員】

- ・自分としては勉強のためもあり招待券を利用して観に来ているし、美術部の生徒も何回かは来ている。
- ・東和中学校全体では約 250 名の生徒で、今後は全員が利用できるように工夫してやりたい。
- ・中学校だけでなく、小学校も近いのでぜひ鑑賞の機会を設ければよいと思う。
- ・市全体で言えば、遠くの学校は交通手段の関係もあり難しいかもしれない。

【意見・菅沼】

- ・今は日本中の美術館が運営に苦勞している。そんな中で萬美術館は、切り口の鋭い展覧会をやっていると思う。
- ・近年、切れ味のよい展覧会が減っていると感じており、25年度の瀧口修造展など、あまり一般的ではないかもしれないが、そういう展覧会が増えればと期待している。
- ・萬美術館には、入館者の多寡などあまり気にせず、のびのびと企画に取り組んでほしい。

【意見・杉本吉武委員】

- ・県内には県立美術館や石神の丘美術館などの美術館があるが、作家名がついているのはここ萬美術館だけで、県内外の萬マニアが来た場合、同じ展示室内に萬の常設展示と別の企画展の併設では気になってしまう。
- ・2階は全部萬の常設展示、1階を企画展というようにはっきり区別したほうがよい。
- ・どこの美術館や展覧会でも、専門的なものは入館者が少ない。ただ公立美術館としては、入らないかもしれないが画期的な展覧会をやるべきで、流行や入館者の動向ばかり気にしてはダメではないかと思う。
- ・リニューアルを機に、もっと画期的な展覧会を発信してほしい。

【意見・五十嵐彰委員・職務代理者】

- ・40年前は表現と鑑賞ということが美術教育の2本柱だったが、最近の教育課程では時間も削られ教員、講師も減っている。
- ・こういう状況で、中学生や高校生が自分から美術館に行ってみようと思うだろうか？美術館がいくら情報を発信しようと響かない。
- ・年間の企画展の中に、幼児向けのものを織り交ぜることは、将来を考えた場合よいことだと思う。
- ・美術館に足を運ぶ人の中には、「10年前に1回見に行ったから」的な人が結構多い。

【質問・紺野委員】

- ・美術館支援事業の関連で、街かど美術館の今後について教えてほしい。

【回答・平野広会長（街かど美術館実行委員会委員長）】

- ・現在の街かど美術館実行委員会はいったん解散する。
- ・いつも終わると次はどうするかと考えてきたたが、それも実は大変なことだった。
- ・初めから3回目までは毎年、4回目・5回目は1年おき、そして今回6回目は3年ぶりとなった。
- ・スタートから10年という節目でもなり、新たな動きに期待しいったん実行委員会を閉じることとした。

II 諮問事項

《諮問》

【審議に先立ち中村館長が諮問書を読み上げ、平野会長に諮問書を手交】

【平野会長】

諮問第1号平成27年度萬鉄五郎記念美術館運営計画を議題とし、事務局の説明を求めた。

《説明》

資料12ページから15ページにより伊藤真紀子学芸員が説明。

《質疑応答》

【平野会長】平成27年度の運営計画について、各委員から質問、意見を求める。

【意見要望・門馬委員】

- ・藤原八弥展ではトークショーなど実施してはどうか。
- ・東和図書館で美術館所蔵の図書の展示を実施したが、この取り組みはよかったと思う。
- ・図書館を利用して美術館の情報を発信することは、子どもたちが美術館へ足を運ぶきっかけになると思うので、図書館を大いに利用してほしい。
- ・ハイビジョンソフト上映の利用が少ないので、広報誌などを利用してもっとPRしてほしい。

【意見要望・小笠原委員】

- ・萬ファンのためにももっと常設展示スペースを拡張するべき。
- ・企画展のスペースの確保も考え合わせると、今の美術館では狭い。全国の萬ファン、地元の美術愛好者のためにも増築をぜひ検討してほしい。

【意見要望・菊池委員】

- ・27年度も期待できる企画と思う。
- ・展覧会の際は、小学生、中学生にもわかりやすい説明を工夫してほしい。
- ・もっと気軽に足を運びやすく、美術の良さを感じられるような展覧会になるように期待する。

【意見要望・今野委員】

- ・美術館の増改築を本格的に考えてほしい。
- ・レストラン、情報室、図書室、ホールなどを併せ持つ美術館になればと期待するもので、今後の考え方を明らかにして取り組んでほしい。
- ・また、全国の萬ファンへ研究資料などを提供できる施設設備としてほしい。
- ・今後の企画としては、大萬展をぜひやってほしいと要望する。

【平野議長】

- ・先ほどから美術館の増改築、拡張について話が出ているので、市としての方針を説明してほしい。

【回答・市川副館長】

- ・平成27年度に市の施設全体の公共施設整備計画策定のための部署を設け検討する方針であ

る。

- ・中央図書館、文化会館などすべての施設について整備計画や管理計画の策定に着手する。
- ・各施設の改修や新築についてもこの中で議論されることになる。

【説明・平澤学芸員】

- ・大萬展の話があったが、現在実現に向け関係美術館と協議段階であり、未発表である。
- ・現段階での構想は、岩手県立美術館・.萬美術館のセット、神奈川近代美術館、プラスもう1館の枠組みで2017年に開催予定だが、決定までにはまだ時間がかかる。

【意見・斎藤委員】

- ・26年度の親子で楽しむ萬鉄五郎展が、外注作業なしに直営でやっていることに驚いた。職員の苦労、努力が推察される。
- ・施設の改修・整備に関しては盛岡市の場合も同じで、最終的にどれを廃止するかという話になる。
- ・この場合も、美術館は重要な施設だ、次は萬美術館の整備だ、というような市民の合意形成を図っていく必要があるのではないか。
- ・その際、全国、県外など外からの声が集まればある程度後押しになるになると思う。

【意見要望・西郷委員】

- ・小中学生の見学については、美術館からのお知らせだけではなく、学校として情報を発信すれば子どもたちも気づくかもしれない。
- ・また、中学生は、5時15分のスクールバスを待つ間、学校待機という時間帯があるので、美術館としては時間外となるかもしれないが、今週は美術館に寄っていこうということではできないか。

【意見・斎藤委員】

- ・中学生の鑑賞促進とかについては、岩手日報の取材をうまく活用すればよい。

【意見要望・菅沼委員】

- ・説明のあった施設の改修・改築計画の策定を注目したい。楽しみである。

【意見要望・杉本委員】

- ・萬と他の作家を対比させた展覧会は最近多い。27年度の多和英子展は着眼点が面白い。
- ・萬と賢治の組み合わせは今後どうか。セットで発信すれば効果があると思う。
- ・施設改修の場合、企画展室と常設展室は、別に整備するように検討してほしい。

【意見・五十嵐委員】

- ・萬と賢治は接点がないが、賢治を取り込むことで花巻では生き残りやすいかもしれない。

【説明・平澤学芸員】

- ・これまでに賢治関連の絵本原画展をやったこともある。
- ・個人的には、今後は、賢治関連の絵画も収集の対象としていきたいと考えている。

《意見集約・平野会長》

各委員から様々な意見や要望が出されたが、諮問第1号の内容については原案を可とする意見とすることに異議がないか諮り、満場で原案通り答申すること、付帯意見は後日整理して答申書に記載して、館長宛てに提出することと決定した。

5 その他

平野会長が各委員からその他の意見や要望等を求めたがなく、以上で議長職を退任する旨告げた。

6 閉会

16時12分、平野事務長が閉会を告げた。